



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

慶應義塾大学 広島通信三田会報

み や じ ま

第 69 号

2025年12月

慶應義塾大学 広島通信三田会

はじめに

急に冬が来ました！ 皆さん、お元気ですか？

寒くなると家に閉じ籠もりになりますが、フレイル予防の為に、運動、栄養、社会参加を心掛けましょう！

年明け、1月10日は、(福澤誕生記念会)で三田キャンパスに参ります！

(瀬戸田 記)

目次

・はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.1
・目次	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.1
・令和8(2026)年 広島通信三田会・新年会 開催について	・・・・・・・・	P.2
[広島通信三田会・2025 年度活動報告]		
・ [4/19] 2025 年度 総会・食事会	・・・・・・・・	P.3
・ [6/28-29] 第27回中四国合同通信三田会 徳島大会	・・・・・・	P.3
・ [7/27] R7_津和野散策 [恐怖!! 残酷暑中の無意識散策]	・・・・	P.3
・ [7/31] 広島慶應倶楽部総会	・・・・・・・・	P.4
・ [8/8] R7_広島県東部三田会納涼三田会	・・・・・・	P.4
・ [10/18] 2025 年全国通信三田会秋期幹事会	・・・・・・	P.4
[近況報告:・2025 最近ガラッと変わったこと]		
・ 近況報告 ～2025 秋～	・・・・・・・・ 瀬戸田 誠	P.5
・ 「半農半X」と言う生き方	・・・・・・・・ 迫田 勲	P.6-7
・ 2025 最近ガラッと変わったこと	・・・・・・・・ 河村 保	P.8
・ 2025 最近ガラッと変わったこと	・・・・・・・・ 檜原 宏明	P.9
・ 2025 最近ガラッと変わったこと	・・・・・・・・ 眞田 千賀子	P.9
・[編集後記]	・・・・・・・・・・・・・・・・	裏表紙

令和 7 年 12 月 10 日

「広島通信三田会 2026 年 1 月度会議」& 新年会のお知らせ

今年も残すところあとわずかとなりました。

皆様におかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

「広島通信三田会」では、新年会を企画いたしましたので、ご案内させていただきます。

今回は「平日ランチ」開催です。ご都合の良い方は、是非ご参加ください。

【日時】 令和 7 (2026) 年 1 月 14 日 (水)

集合、 10:00 広島駅 2F 新幹線改札口 北側 付近
10:20 無料シャトルバス乗車→10:30 発車
11:00 グランドプリンスホテル広島 到着

【会場】 11:30～ 広島 **なだ万** - グランドプリンスホテル広島
(広島市南区元宇品町 23-1 グランドプリンスホテル広島 20F)

【議題】…主として、資料配布(少々のコメント)のみ

- ① 来年(2026)度行事予定の打ち合わせ
- ② 次回会報「みやじま」70 号の掲載内容について
- ③ その他、…

【食事会】… 広島 **なだ万**

◆四季ごよみ

(先付、温菜、本体、食事、デザート)

(3,400 円 (税抜) 4,226 円 (税サ込))



食後、ホテル内散策

集合、14:30 ホテルロビー →14:40 無料シャトルバス 発車
15:10 広島駅新幹線口(北側) 到着

解散(終了)、15:30 頃の予定。

メール会員の方へは、メールでもご案内しております

なお、準備・予約の都合上、出欠希望の旨をお知らせくださいませ。

来る 令和 8 (2026) 年 1 月 10 日 (土) 23:59 〆切 までに

広報担当・小林 まで

メール： hfd03521@nifty.com

LINE 交換済みの方は、LINE トークからも可

郵便はがき使用時は、編集先(本冊子裏表紙参照)へ

以 上

・ [4/19] 2025 年度 総会・食事会

- ・ 日時: 2025 年 4 月 19 日(土) 10 時～
- ・ 場所: 福山市民参画センター 他



総会：議題

- ・ 令和 6 年度
活動概況報告、会計報告、監査報告
- ・ 令和 7 年度
活動計画案
「中四国(徳島)の件」
「会則改定・交通費の支給」他

※総会資料は個別郵送済※

会食の様子など

久々の「福山」開催。新交通車で福山城周辺を移動。近況報告や予定等確認。

・ [6/28-29] 第 27 回中四国合同通信三田会 徳島大会

- ・ 令和 7 年 6 月 28 日(土) 19 時～ 中四国合同通信三田会懇親会・徳島 50 周年祝賀会



瀬戸田会長・小田・小林 が出席。徳島市のパレスホテルにて。
会に先立ち、大塚国際美術館を見学。(希望者のみ)

◆本会報紙面の都合により、詳細はこちらから→

<https://hiro-tu-mitakai.net/?p=1102>

(※ 広島通信三田会ホームページ ー『第 27 回中四国合同通信三田会徳島大会』)



・ [7/27] R7_津和野散策 [恐怖!! 残酷暑中の無意識散策]

- ・ 日時: 2025 年 7 月 27 日(日)



山口通信三田会の
小河さんに誘われて、
気温>体温の酷暑の中
意識が遠退きながら、
小林が「散策」をして
きました。

、、、暑かった～💧

• [7/31] 広島慶應倶楽部総会

- ・ 日時：2025年7月31日(木) 18時～
- ・ 場所：リーガロイヤルホテル広島



◆ 本会報紙面の都合により、詳細は ↑ こちらから
<https://hiro-tu-mitakai.net/?p=1199>

(※ 広島通信三田会ホームページ - 『2025年度広島慶應倶楽部総会・懇親会』)



• [8/8] R7_広島県東部三田会納涼三田会

- ・ 日時：2025年8月8日(金) 18時～



瀬戸田会長が、福山市内の会へ参加。



◆ 本会報紙面の都合により、詳細は ↑ こちらから
<https://hiro-tu-mitakai.net/?p=1255>

(※ 広島通信三田会ホームページ - 『R7_広島県東部三田会納涼三田会』)

• [10/18] 2025年全国通信三田会秋期幹事会

◆ 全国通信三田会 2025年秋期幹事会 ◆

- ・ 日時：2025年10月18日(土曜日) 13時00分開始予定
- ・ 場所：三田キャンパス 南校舎4階 445教室

◆ 通教卒業生 17000人達成記念式典・祝賀会 ◆

- ・ 15:00～17:00 記念式典 (同会場)
- ・ 17:20～19:00 記念祝賀会 (南校舎4階 ザ・カフェテリア)

瀬戸田さんの
記事へと続く...



近況報告 ～ 2025 秋 ～

瀬戸田 誠（平成元(1989)年経済学部卒）

10月以降は、秋期幹事会が三田であり（10月18日）、翌19日は連合三田会大会（日吉）にて開催されました。今年は通信卒17000人突破記念式典が幹事会後開催され、麻生連合三田会会長（講演）、菅沼名誉連合三田会会長、駒形常任理事、大屋通信教育部長、栗生塾員センター部長と、蒼々たるメンバーの列席を仰ぎ盛大に懇親会が開催されました。



翌日の日吉に於いての連合三田会大会は午前八時の三色旗の掲揚から立ち合い、日吉記念館に三色旗がはためきました。通学課程の席取りに追われ、通信のたまり場に行く機会が遅くなりました。すみません！！

私は、連合三田会常議員として、初めての連合三田会大会出席で、日吉記念館の前列に着席しました。今年の連合三田会大会は、コロナ明け初めてのリアル三田会大会で、何かと不都合もあり、参加された塾員各位にはご迷惑をお掛けしましたことを反省しております。昼前に小雨が降りましたが、まずまずのお天気でした。

来年度はリアルで正常な運営が出来ると期待しています。

さて、広島通信三田会の行事予定としては、12月に山口で（ミカン狩り）、来年1月に新年会を予定しています。

来年度は、岡山通信三田会が主幹で、中四国合同通信三田会が10月に開催されます。行事が目白押しなのが三田会。皆さん、お元気で！！

「半農半 X」と言う生き方

迫田 勲（昭和 43（1968）年法学部卒）

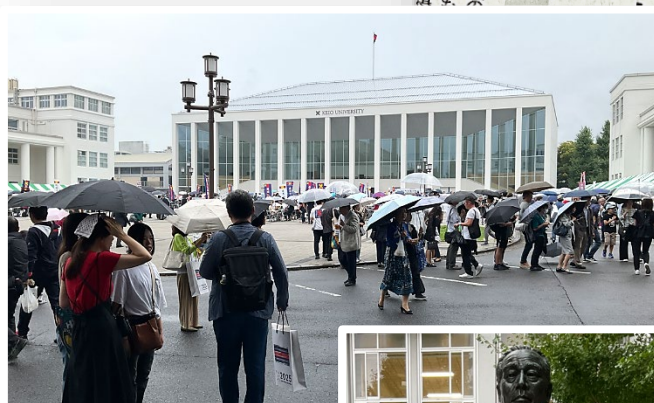
◆ はじめに

20数年前の帰郷後、小農（自給用の野菜等を作りながら自然と親しむ、ささやかな暮らし）をしながら何か社会に恩返しするような活動（お金を目的にしないボランティア）をしたいと思っていたところ、塩見直樹氏の著書「半農半 X」に出逢い、興味を惹かれた。

それは「半自給的な農業（小農）とやりたい仕事を両立させる生き方」、つまり、**生き方の社会運動**であることを知った。その後、同氏が広島に来られ、直接本人から話を聞き、これを今後の人生の指針にしたいと、思い「半農半 X」を名刺に使用する許可をいただき、使用している。

母が細々と野菜や花づくりをしていた小農を引き継いだ。農家の生まれで農について多少の知識はあったが、本格的に？農＝小農（専業の大規模農業ではない）に取り組むのは初めてだ。

広島市農協が行っていた農業塾に2年間通い1から農業を学んだり、母に聞いたり、試行錯誤を繰り返しながら小農を続けた。これは先祖が守り続けた農地を守らなければ、という思いもあった。しかし、大半の農地は手が回らず放棄地を超え、山と化している。



2025 年
慶應連合三田会大会
（R7.10.19（日）
日吉キャンパスにて）

※以前、原爆の絵を描いてもらった学生さんと、論吉胸像の前で、記念に一枚撮影。



↑ 迫田さんの投稿記事
（R7.8.13 中国新聞朝刊）

◆「半農」について

あれから20年ばかり経ち、今は高齢の身、猫の額ほど畑で季節の野菜や花づくりを、細々としている。季節の野菜を30種類ばかり耕作している。耕し、種を蒔き、芽がでて、花が咲き、大きくなって収穫・・・自然の偉大な力に感動する。この成長を見ることが楽しみだ。

農業は重労働、猛暑でも見回りや草刈りをしなければならない。

「願えども花は散り、願わねども草は生える」である。

季節ごとの野菜を自分で作り、旬のものを戴くこと、これ以上の贅沢はない。**感動**があり、**感謝**の念が湧き、**健康**にも良い。『3K!?』である。

食料品価格が高騰している今日、野菜を買う必要がない。経済的にも助かる。又、オーバーな言い方をすれば、環境保全や自給率に貢献する。本格的な農業はしんどいが、小農は高齢者に適し、楽しみ、健康を与える。

「半農」は健康や楽しみ、喜び、感動を与え私の生き方になっている。

◆「半X」について

人は唯食べて生きているだけでは満足しない。**やりたいこと**や**何らかの志、夢**をもっている。これを実現することで社会と繋がり、社会貢献に繋がる。これが「X」だと思っている。従って「X」は人やその時代によって違う。企業や団体等の製品やサービス提供を行う仕事は立派な社会貢献「X」である。

私は帰郷後、地区の活性化や住民福祉活動を行う各種団体（自治会や社会福祉協議会、NPO法人等）の世話をした。これを「X」と認識していた。

現在は、被爆体験証言者として、主に修学旅行で広島を訪れる小、中、高生等に原爆の脅威と平和への思い等の話をしている。未来を担うこうした子ども達に私の体験から戦争や核兵器の脅威を伝え、平和の有難さを知り、安心して暮らせる平和な社会を創って欲しいとの思いである。

講話後の質問や感想から、彼らが目を輝かせて真剣に聞く姿や雰囲気を見て、日本の将来、世界平和に貢献する活動と感じ使命感を覚え、これを人生最後の仕事「X」、ご奉公と思っている。これまで約200回、約10000人の子どもや一般人に講話してきた。

2025 最近ガラッと変わったこと

河村 保（昭和 52（1977）年 経済学部卒）

齢(よわい)は、80歳を越えました。こんなに歪な体で良くもここまで、生きられたものです。睡眠時に鼻マスク式の人工呼吸器をつけ始めて25年になります。

最近、胸肋骨の筋肉？に痛みが感じられて、医師へ訴えますが処方がありません。
(日中は酸素濃縮器から、酸素を吸い込んで約10年)

息苦しさを感、足腰は弱り、何をするにもブレーキがかかります。短い作文も書けなくなりました。 なにもかも、気持ちを据えての取り組みが出来なくなりました。慶応通信で学んだ、「学び」への心は萎えてしまったようです。
それでも、気持ちだけは先行して、自らを痛めつけます。

これではまずいと、「いのち いっぱい 咲きんさい!」と、自らに呼びかけています。 もう一花、咲かせたい、「若き血」をもう一度よみがえらせたいと!!

三田の山の大公孫樹(オオイチョウ)は、天を目指してリンリンと立っていました。

※※※ 2023.12.01 頃撮影 ※※※ →



・・・締切を過ぎてしまい、ご迷惑をお掛けします。小林さまのおおらかさに感謝するばかりです。
日吉キャンパスのイチョウの並木道を歩いていくときの、希望に満ちた安心を感じます。
ありがとうございます。



【参照資料】

◆ Keio Times（特集）◆ ↑

〔四季と歴史を彩る義塾の銀杏〕 2024/03/26

<https://www.keio.ac.jp/ja/keio-times/features/2024/3/>



2025.11.26 撮影

2025 最近ガラッと変わったこと

檜原 宏明（平成 28 (2016) 年文学部卒）

どうやら 2025/10/01 付で、Youtube チャンネルを開設された模様。（小林調べ）



[ひふみ voice - YouTube](#)

元来「歌手」の方なので、↓の作品は賛美していますが、↓の作品辺りの「コント」って何!?



ますますのご活躍を祈念しております!!

（ by 小林 ）

2025 最近ガラッと変わったこと

眞田 千賀子（令和 6 (2024) 年文学部卒）

こんにちは！ ご無沙汰しております。
すみません。何も変わったことはありません。
ただ、仕事でこの夏オーストラリアに3週間行き、
そのとき2キロほどbigになり、いまだ持って、それを維持しているくらいで
しょうか。・・・というわけで、何もありません。
次にお会いするのを楽しみにしております。

◆ちょこっと小林メモ◆

=== 義塾の銀杏 ===

河村保さんが、慶應義塾大学のイチョウの話をされたので、ちょこっと調べてみた。
「大学のシンボル」の「イチョウ」といえば、、、私は、**東京大学**を真っ先に思い浮かべるのだが www

脱線はさておき、「**三田山上の銀杏**」といえば、文学部の方はよくご存じかもしれない「**詩人・佐藤春夫**」。

ひともと銀杏葉は枯れて

庭を埋めて散りしけば

冬の試験も近づきぬ

一句も解けずフランス語

1910(明治 43)年に入学、数年後に退学。約 20 年後に「三田の学生時代を唄へる歌」という副題を添えた「酒、歌、煙草、また女」を発表。



①

ここで歌われている銀杏が**大公孫樹**かどうかは定かではないが、彼が「三田キャンパスのシンボル」として「銀杏」を強く意識していたことは確かでしょう。

“一句も解けず”に共感してしまう私がいる!?(爆笑!!) 私は経済学部で、フランス語は履修していないが、別の科目で疑似体験済み(笑)。

試験というものは、万人にとって「苦労するもの」なんですよな。「イチョウ」「銀杏」を見ると、あの頃の「冬の試験」を苦々しく思い出すなんて、あのすばらしい「黄色の世界」の裏側に秘められた悪夢よ…。

②

もう一本、**塾監局玄関前の銀杏の木**。この木は、**森鷗外**(文久 2.1.19(陰暦)~大正 11.7.9 小説家・医師)が、慶應で「審美学」の講義をしていたころ、いつも馬を繋いでいたといわれている木。う~む、そうか、この時代は「**馬通勤**」なんですね。

③

そして**横浜日吉キャンパスの銀杏並木**。約 100 本の銀杏が植樹されたのは、日吉開設の翌年、1935(昭和 10)年で、すでに**樹齢 90 年!!** 「入学してから銀杏の葉が散るまでに恋人ができないと、4 年間ずっと恋人ができない」という「銀杏伝説」、一種の都市伝説もあるらしい。

私事、来年結婚予定の我が息子は、たちまちこの伝説からは免れたようだ。よかった、よかった。

(出所:『塾』 AUTUMN 2023 (No. 320) の「ステンドグラス」参照 : 小林 記)

編集後記

会報「みやじま」は、年 2 回の発行をしている。本来ならば、夏前・春前が、時期的に良い頃だろうが、夏前はとにかくイベントが多く、夏の暑さは編集には不向き!!な、ここ数年だった。

でもそろそろ、本来のあるべき期間に戻すべきだろうか? 全国紙のお手伝いをしながら、最近よく考えている。発行時期と同時に、電子化(紙媒体削減化: ペーパーレス化)についても、ふと思うところがある。…まあまだいいか、もう少し様子を見よう。次号へ「夢と希望」を繋げる。

(小林)

慶應義塾大学 広島通信三田会報「みやじま」 第 69 号

発 行 広島通信三田会 会長 瀬戸田 誠

編 集 広島通信三田会 幹事(広報担当) 小林 節子

〒739-0145 東広島市八本松町宗吉 171-1

E-mail hfd03521@nifty.com

発 行 2025 年 12 月 20 日

会の HP <https://hiro-tu-mitakai.net>

